

しがみつく本種を確認。早朝、一番に日が当たる場所、または前日、最後まで夕日が当たった場所なのかと、気にかかった。

11月1日には、上記ソテツでもまったく見られなかった。

ところが、11月7日朝、マンション4階の日の当たる自宅窓に(1階はバタフライガーデン用に借りている)新鮮な個体(♀)が静止していた。継続して調査したい。

なお、10月13日、ソテツの小さな若葉を食害している本種の若齢幼虫を発見、飼育したところ、ぐんぐん大きくなり17日に前蛹に、19日に蛹(写真3)になった。一週間ほどで羽化した。成長に要したソテツの葉は、10cm足らずの葉、一枚半だけだった(写真4)。凄まじいまでの生命力を感じさせられた。



写真3 クロマダラソテツシジミ蛹

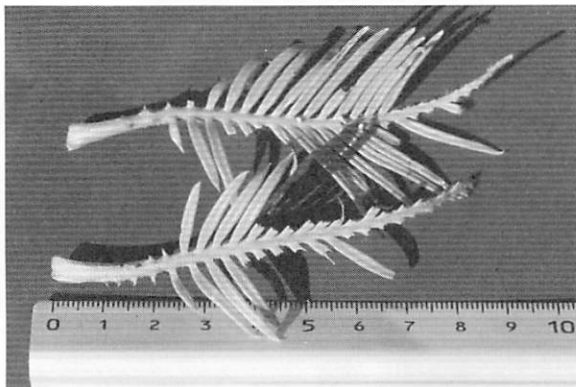


写真4 1頭が成虫になるのに要したソテツの若葉の量

明石市におけるリュウキュウムラサキ県内
20例目の記録
山本 航平

リュウキュウムラサキ *Hypolimnas bolina* (Lin.) は東洋熱帯に

広く分布する¹⁾蝶類である。国内では迷蝶として知られ、本州以南での記録があり、奄美大島以南では毎年採集されているが八重山においても土着しているかどうかはわかっていない¹⁾。

兵庫県内では過去19例の記録¹⁾があり、最新のものでは2000年小野市西脇町¹⁾のものがある。

このたび筆者は明石市内において、偶然にも本種を採集することができた、よってここにその記録を書き留める。

2007. VIII. 16, 明石市松が丘北町1丁目, 山本航平leg., 同, 標本保管

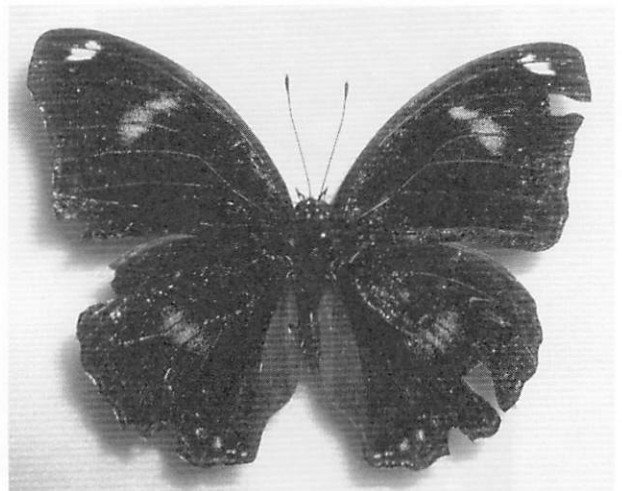
他の昆虫類の採集観察中に、地上2m付近を飛ぶ本種を発見し、捕虫網にて採集した。後日、近藤伸一氏に画像をご覧いただき、台湾型⁶⁾の同定をいただいた。今回の記録は県内7年ぶり20例目の記録であり、明石市での初記録となる。またこの記録は2007年8月21日の神戸新聞神戸版、8月23日の明石版に掲載された。

本標本は2007年8月25日、神戸市立須磨海浜水族園にて行われた神戸生物クラブ標本同定会にて、9月8~17日には神戸市立青少年科学館にて行われた理科作品展にて展示された。

発表にあたり、ご指導いただいた兵庫県立人と自然の博物館八木剛先生、同定していただき発表をお勧めいただいた近藤伸一氏に深く御礼申し上げます。

<参考文献>

広畑政巳・近藤伸一(2007)兵庫県の蝶:303.



リュウキュウムラサキ